

わたしたちの 神原

発行・編集
神原コミュニティ協議会
☎74-0978



あけましておめでとうございます



西宮市の誕生を祝う獅子ケ口町の人たち

100年前の記念撮影。向かって左奥に「だんじり」が見えます

今年、大正14(1925)年に西宮市が誕生してから100年となる記念すべき年です。市制施行により、獅子ケ口町は「西宮町今在家字獅子ケ口」から、「西宮市獅子ケ口町」となりました。

市制施行の日には、西宮神社境内で祝賀式が行われ、多くの人でにぎわったそうです。その時、獅子ケ口町の青年団は祝賀の「だんじり」を作りました。手製の獅子頭ししがしらを乗せたその「だんじり」を、男性たちが化粧をしてそろいの法被はっぴにハチマキ姿で、鉦かねや太鼓を打ち鳴らしながら紅白の綱を引いて練り歩きました。

女性は日本髪を結って美しく装い、子どもたちはそろいの着物を着せてもらって大はしゃぎ。

その日、市内各町が工夫を凝らして作り上げた山車だしが、西宮神社一帯を練り歩きました。そして、それらの中から獅子ケ口町の「だんじり」は、優秀として賞をもらったそうです。



地域・保護者と共に学ぶ
神原小学校の防災学習



神原小学校では、昨年10月

24日の午前中、オープンスクールとして保護者や地域各団体に参加を呼びかけ、「地域合同防災訓練」を行いました。

まず、全校児童で地震を想定した避難訓練。これは、いざというときに戸惑わないよう繰り返し行っています。その後、さまざまな防災学習をしました。



自主防災会による放水訓練

防災食の試食

全校児童は、災害時の備蓄食であるドライカレーを少しずつ試食しました。パックに入っているアルファ化米に湯を入れて作るものです。「おいしかった」と好評でした。

防災スリッパ作り

(1・2年生)

新聞紙で簡単に作れるスリッパを、保護者や神原校区自主防災会のメンバーに手伝ってもらいながら作りました。

「家に帰ったら家族の分も作ってあげる」と子どもたちの声。芯に段ボールを入れるとより強くなるそうです。



完成した新聞紙スリッパ

煙の中の避難訓練

(3・4年生)

北夙川消防署の指導の下、煙を発生させた理科室の中を、姿勢を低くして口を押さえながら避難する訓練をしました。火事の際に、安全な場所に移動するための大切な訓練です。子どもたちは「ハラハラしたけれど、習ったとおりでした。煙の部屋から出たときはホッとした」と言っていました。

段ボールでベッド作り

(5・6年生)

避難所などで、冷たい床でごろ寝しないで済むように開発された段ボールベッド。体育館で6班に分かれ、市・防災危機管理課の指導を受けて、段ボールベッドを組み立てました。

完成すると、子どもたちは早速ベッドの上に横になり、寝心地を試していました。とても安定感があり、みんなです座っても大丈夫なほど頑丈でした。

次に、避難所でプライバシーを守るためのパーティションも、段ボールで組み立てました。



段ボールベッドの寝心地は？



パーティションを組み立てる

AED救急救命講習

(保護者・地域団体)

AED(自動体外式除細動器)は、最近では公共機関や大型商業施設など、いろいろな場所に設置されています。その使い方や心肺蘇生法を知っておくと、いざというときに人の命を救うことができます。

講習を受けた人は「身近な人を救うために必要なことだと思いました」と話していました。



心肺蘇生法を学ぶ

消火器放水訓練

(保護者・地域団体)

訓練用消火器で、標的の炎を目掛けて放水し、消火しました。消防署員から「ホースを消火器本体から外すときは、その先端を持つのがコツ」と教えてもらいました。

◇祈り、安らぎ、永遠、そしてあなたらしさ…。心を大切にしてお墓作りを考えています◇

有限会社 中原石材工業所 代表取締役 谷本 俊和

事務所・工場 西宮市名次町12-27(満池谷墓地正面西約200m)

TEL 0798-73-5334 FAX 0798-70-5200

各種訓練の他、家庭内での参考となるように、体育館で家具転倒防止器具、非常用持ち出し品、備蓄食の展示なども行われ、防災について考える1日となりました。

* * * * *

子どもたちは、災害発生時に避難するときの心がけとして、日頃から「おはしも」（おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない）の約束を繰り返し学び、体験を通して身につけていきます。大人の私たちも、さまざまな機会を通して、身につけておきたいものです。



標的の炎を目掛けて



目標球に近づくようにねらって

神原小3年生が地域の人と「ポッチャ」を体験

神原小学校で取り組んでいる福祉学習の一環として、昨年10月11日に、3年生が地域の人たちとポッチャのゲームを楽しみました。

ポッチャは、老若男女、障がいの有無にかかわらず、椅子に座って競技できるスポーツで、パラリンピックの正式種目にもなっています。

ルールは簡単で、ジャックボールという白い目標球に向かって、2チームが赤、青のボールを6球ずつ投げ、目標球により近づくことができたチームが勝ちとなります。

今回、子どもたちは椅子に座ってゲームに参加し、地域の人との交流を深めました。

和気あいあいと「たのしい神原の集い」

神原地区社会福祉協議会主催の「たのしい神原の集い」が、昨年10月6日に神原公民館で開催されました。当日は天候に恵まれ、地域在住の70歳以上の244人が参加しました。

講堂で行われた「たのしい演芸」では、神原公民館で活動している女声コーラスグループ「コール・ソレイユ」の皆さんのすてきなコーラスや、「全日本あすなろ腹話術協会」西宮支部の人たちが操るかわいい人形たちとの会話を楽しみました。

また、来館者に折り紙で作った色とりどりの花を一輪ずつ台紙に貼ってもらい、きれいな花のじゅうたんが完成しました。作品は、10月26日から神原公民館と神原市民館で始まった西宮市民文化祭の神原地区社協のコーナーにも展示されました。

当日の参加者は、「多くの知人と久しぶりに出会い、演芸も楽しくて、よい1日でした」と話していました。



花のじゅうたんが完成



かわいい人形たちと会話



受付風景



季節のおいしい和菓子をお楽しみ下さい
慶弔の引出物承ります

和菓子司 翁葉舗 甲陽園

阪急甲陽園駅前通り 電話 (0798) 74-6825
(水曜定休日) 甲陽園西山町1-60

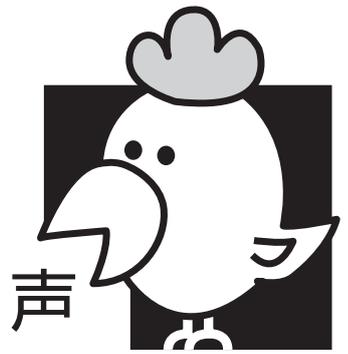


コール・ソレイユの美しい歌声

長を引き受けて17年。会員の
 会長の宮崎清さんは、「会
 びを分かち合いました。
 会員に披露され、みんなで喜
 9月18日の敬老会では賞状が
 このたびの表彰を受けて、
 が、現在は休止中です。

この会は昭和45(1970)
 年に発足。以来55年にわたっ
 て活動を続けています。主な
 活動は、年3回の「ことばき
 号バス」を利用した研修、敬
 老会、新年会など。また、獅
 子ケ口町や地域の行事にも積
 極的に参加しています。コロ
 ナ禍以前は、カラオケ会や保
 育所・小学校の子どもたちと
 の交流会も実施していました
 が、現在は休止中です。

優良老人クラブとして表彰
 獅子ケ口楽友会は、長年の
 老人会活動が評価され、昨年、
 優良老人クラブとして「西宮
 市老人クラブ連合会理事長表
 彰」を受けました。



大谷選手
 ありがとうございます
 ロサンゼルス・ドジャース
 所属の大谷翔平選手が愛用し
 ているコンディショニングマ
 ットレスの会社とのコラボ企
 画「大きな夢を見よう！ プ
 ロジェクト」に、スポーツク
 ラブ21神原の少年野球チーム



表彰を喜ぶ会員

皆さんの協力のおかげでがん
 ばることができました。これ
 から楽しい行事を企画して
 いきます。新入会員のご参加
 をお待ちしております」と話
 していました。

おめでとう
 ございます
 西宮市青少年
 健全育成成功労者表彰
 内山 博夫さん
 (神原)



プレゼントのマットレスを大空にかかげて



メンバーが勢ぞろい

「神原苦楽園ツインスターズ」
 が応募して当選。部員45人分
 のマットレスが届きました。
 この企画は、睡眠を大切に
 している大谷選手が、全国の
 スポーツをする子どもたちに
 約2500本のマットレスを
 プレゼントするもので、子ど
 もたちは、「みんなで元気に
 育ち、楽しく野球をしていき
 ます」と大喜びでした。

写真提供：西宮つーしん

神原公民館地域学習推進員会講座の予定 (令和7年1月~3月)

日時	内容	講師	備考
1月12日(日) 13:30~15:30	大河ドラマ「べらぼう」 江戸時代、数多くの浮世絵師や作家の才能を見出して世に送り出した篤屋重三郎の波瀾万丈な人生を描いた物語についての話	西宮市立西宮東高等学校元教頭 霜澤 喜代子	定員40人 電話申し込み 1月6日(月) 10:00~ 神原公民館
2月4日(火) 13:30~15:30	おし花を学ぼう 草花についての押し方、保存の仕方、作品の作り方までを学び、おし花を閉じ込めたすてきなボールペンを作りましょう *材料費 700円	柳川おし花講師 井上 千津子	定員20人 電話申し込み 1月20日(月) 10:00~ 神原公民館
3月16日(日) 13:30~15:00	オカリナコンサートと参加者による合唱 素朴で優しい音色のオカリナ。その演奏や演奏をバックにした合唱をお楽しみください	「社のオカリナ」グループ	定員35人 電話申し込み 3月10日(月) 10:00~ 神原公民館

電話申し込み・問い合わせは、平日9:00~17:00に神原公民館まで(電話71-7444)

能登の被災地に届けました
 昨年7月26日、神原地区青少年愛護協議会主催の「縁日」において、能登半島地震災害への募金を神原小学校の子どもたちからいただきました。
 また10月6日の「たのしい神原の集い」に参加した皆さんから能登の豪雨災害への募金をいただき、能登の被災地に届けました。ありがとうございました。
 1日も早い能登の復興をお祈りします。
 神原地区社会福祉協議会

神原市民館からお知らせ
 令和7年4月 から神原市民館(1階和室・集会室A・B)は、日曜日と祝日を閉館とし、部屋の貸し出しは行いません。ご了承ください。
 *神原公民館(1階実習室と2階全室)は、従来通り開館します

上記のような講座企画に興味のある神原・甲陽園地域在住の皆さん、神原公民館地域学習推進員として一緒に活動しませんか？詳しくは気軽に神原公民館まで電話してください。
 電話 71-7444